中級クラスにおけるブックレビュープロジェクト

A Book Review Project in the Intermediate Level Course

UNIVERSITY OF TORONTO

IKUKO KOMURO-LEE

THE 28TH CENTRAL ASSOCIATION OF TEACHERS OF JAPANESE CONFERENCE (CATJ28)

"JAPANESE LANGUAGE EDUCATION IN DIVERSIFYING COMMUNITIES"

SATURDAY, MAY 30 – SUNDAY, MAY 31, 2020

発表の流れ

1. プロジェクト実施の背景
2. 読解活動における「つまずき」
3. 実践報告
4. 学習者の振り返り
5. まとめと今後の課題

1. プロジェクト実施の背景

中級レベル以上の読解教育

＝ 解説文や意見文、専門性の高いテキストを読む

≠

多様な目的を持つ学習者にとっての共通のゴール

多様な目的を持つ学習者が、自律的に日本語学習を継続させていくためには、**日本語で読めることの楽しさ**を体験することが必要では？

楽しんで読むことに重点を置いた読解教育：多読授業

数多くの読解テキストが必要：

a. 学習者が書店に行って選ぶ（池田2008, 柳田2018）

b. 多読用に書き下ろされた読み物を用いる

（二宮・川上2012, 熊田・鈴木2019）

c. 教師が一般書籍の中から選んで集める（江田他2005）

→ 日本国外の環境では難しい

ブックレビュープロジェクト「私／僕のおススメ」

大学の図書館が所蔵している書籍を用い
中級（CEFRのB1レベル）コースにおいて、
学習者が自分で選んだ文学作品（短編）を読み、
クラスでブックレビュー（発表）を行う

長期にわたる読解プロジェクトを行う上で
学習者にとって困難となる点は何か

2. 読解活動における「つまずき」

石黒（2019）が定義する「つまずき」：

学習者が読めないところ、読むのに苦労するところ

情意面：
読む気力の減退
ストレス

日本語能力・知識の欠如

本プロジェクトにおける「つまずき」

自分一人の力では越えられず先に進めない。
読む作業を挫折してしまう。

「つまずき」の防止と対応のための活動・タスク

活動の場	活動・タスク	読む気力の維持／ストレスの軽減	内容理解のサポート
教室外（課題）	自分が読めそうだと判断した作品、興味を持った作品を選ぶ	✔	
教室外（課題）	理解に自信の持てない箇所を抜き出し英訳してフィードバックを受ける	✔	✔
教室外・教室活動	理解の程度・進度を確認するための教師との面談	✔	✔
教室外（課題）	チェックポイント（5つ）の課題をクリアする	✔	✔
教室活動	自分の作品についてペア／グループで話す	✔	

3. 実践報告

ブックレビュープロジェクト「私／僕のおススメ」

自分が興味を覚えた現代日本文学の短編（30ページ程度）を読んで、作者と作品をクラスメートに紹介し、自分の感想を述べる。

読み書きに重点を置いたコース（週2日2時間ずつの授業）において、文法、漢字語彙、速読、書きの課題などの活動と並行して実施

実施期間と対象者

期間：

2018年度と2019年度の秋学期（9月～12月の13週間）

対象：

北米T大学中級コース（初級240時間、中級120時間を終了したCEFR B1レベル）

2018年度：13人

2019年度：17人

課題図書

『はじめての文学』全12巻シリーズ（文藝春秋 2006-2007）

「はじめて現代の日本文学にふれる若い読者のために」

「小説はこんなにおもしろい！ 文学の入り口に立つ若い読者へ向けた自選アンソロジー」

（文藝春秋サイト https://books.bunshun.jp/list/search?series=%E3%81%AF%E3%81%98%E3%82%81%E3%81%A6%E3%81%AE%E6%96%87%E5%AD%A6 より抜粋）

課題作品リスト

	メモ	著者名	著者名（ひらがな）	作品名	総頁数	主な登場人物など
1	長編のみ（対象外）	浅田次郎	あさだじろう	—		
2	読みやすい	小川洋子	おがわようこ	▸**「ギブスを売る人」**	33	僕と伯父さん
				「キリコさんの失敗」	31	私とキリコさん
				「バックストローク」	25	弟
3	言葉が時々難しい 読みやすそうで読みにくいものもある	川上弘美	かわかみひろみ	「運命の恋人」	9	恋人とわたし
				「神様」	13	くまとわたし
				「パレード」	25	センセイとツキコさん
				「ときどき、きらいで」	11	えりちゃんとお母さん
				「春の絵」	9	おれと女
				「椰子の実」	13	兄とわたし
				「ざらざら」	13	三人友達
				「草の中で」	37	わたしと二人の男の子
				「花野」	21	幽霊のおじ
				「北斎」	27	蛸みたいな男
				▸**「鼴鼠（うごろもち）」**	27	うごろもちと人間たち
				「おめでとう」	6	わたしとあなた
4	言葉が難しい	桐野夏生	きりのなつお	▸**「嫉妬」**	35	同期のプロレス仲間
5	読みやすい 言葉が平易	重松清	しげまつきよし	「モッちん最後の日」	33	少年
				「カレーライス」	13	父と息子
				▸**「タオル」**	17	少年
				「あいつの年賀状」	11	少年と友人
				「ライギョ」	16	少年と同級生
6	読みやすい	林真理子	はやしまりこ	▸**「二人の部屋」**	21	女友達
				「駅」	21	男女
7	長編のみ（対象外）	宮部みゆき	みやべみゆき	—		
8	言葉が難しい	宮本輝	みやもとてる	「真夏の犬」	29	少年
	関西弁			「力道山の弟」	31	少年と父親
				▸**「トマトの話」**	37	サラリーマンの回想（学生時代）

プロジェクトの流れ

	課題の提出 – チェックポイント（CP） –	教室活動	教室外（課題）
第1週目		プロジェクトの説明&作品紹介	リストの作品を読んでみる
第2週目		グループで作品の冒頭部分を読む	リストの作品を読んでみる
第3週目	**CP1**：作品決定&理由		
		ペア／グループワーク （週に一度、5～10分程度） – 自分が読み進めた内容や著者のこと、自分の感想などをクラスメートに話す – 自分がよくわからない箇所についてクラスメートに尋ねる	– 毎日/毎週読む分量を決め、計画立てて読み進める – 毎週英訳（数行分）を提出&個別にフィードバック（中間あたりで一度面談。そのあとは必要に応じて）
第8週目	**CP2**：著者紹介		
第10週目	**CP3**：あらすじ&感想・興味を覚えた箇所		
第12週目	**CP4**：発表スライドドラフト	ペアになって互いに自分のドラフトをもとに発表内容について話す	– ドラフトをもとに面談
第13週目	**CP5**：発表スライド	発表（10～15分）&互いにコメント	

CP1 テンプレート 決定作品・作品を選んだ理由

EAS461H1F (Fall 2018) ブックレビュー「私/僕のおススメ」 チェックポイント1（提出日：2018 年 9 月 26 日 水曜日）

名前：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ クラス番号（　　）

/3%

● ブックレビューに選んだ作品

作品名		著者名	
この作品の全ページ数			

全ページ数が 30 ページ未満の場合は、30 ページ以上になるように複数（ふくすう）の作品を選んで、下に書いてください。

● この作品を選んだ理由

「この作家が好きだから」や「このタイトルが面白そうだから」のような簡単な説明ではなく、この作品や、ほかのいろいろな作品を少し読んでみた結果、どういうところに興味を持ってこの作品を選んだか、それがわかるように書いてください。説明が難しいところは英語を使っても日本語で書いてください。

	課題の提出 －チェックポイント（CP）－	教室活動	教室外（課題）
第1週目		プロジェクトの説明&作品紹介	リストの作品を読んでみる
第2週目		グループで作品の冒頭部分を読む	リストの作品を読んでみる
第3週目	CP1：作品決定&理由		
第8週目	CP2：著者紹介	ペア／グループワーク （週に一度、5～10分程度） － 自分が読み進めた内容や著者のこと、自分の感想などをクラスメートに話す － 自分がよくわからない箇所についてクラスメートに尋ねる	－ 毎日/毎週読む分量を決め、計画立てて読み進める － 毎週英訳（数行分）を提出&個別にフィードバック（中間あたりで一度面談。そのあとは必要に応じて）
第10週目	CP3：あらすじ&感想・興味を覚えた箇所		
第12週目	CP4：発表スライドドラフト	ペアになって互いに自分のドラフトをもとに発表内容について話す	－ドラフトをもとに面談
第13週目	CP5：発表スライド	発表（10～15分）&互いにコメント	

EAS461H1F/EAS1305H1F (Fall 2019) 宿題 「私/僕のおススメ」のための翻訳

第____週目（提出日：2019 年____月_____日 木曜日）

名前：_____ クラス番号（ ）

●作品タイトル【 】著者名（ ）

_____ページの____行目～_____ページの____行目

原文：

（以下は例です。この部分を消して使ってください。だいたい原本で５行分ぐらいの訳をしてください）

そう言って、ソウルは、テーブルの上に置かれた新聞を目で指した。新聞は、一度、もみくちゃにされた後、再び伸ばされたというように皺が寄っていた。ヤスミンは、それを取り上げ、記事を読んだ。あまり大きくはない見出しが、すぐに目に止まったのは、ブロンクス・ニューヨークという地名のせいだった。しかし、内容は、この街に住む者なら誰もが読み慣れた、ソウルの言葉を借りれば、いつものこと。少年二人が銃で撃たれて死んだというものだった。

PLEASE START HERE. Please translate the text above here, triple s

you are not very sure how to translate. When you are done, plea

＜この部分で自分が覚えたい３つの言葉とそれらを使った短文＞

覚えたい言葉・表現 ★漢字の言葉にはふりがなも書く。	意味（英語訳）	自分で考えた短文
1)（例）X を目で指す	to point X with one's eyes	
2)（例）X をもみくちゃ(にする)	to crumple up X (eg. paper)	
3)（例）X を伸ばす	to stretch up X	

翻訳の宿題用テンプレート

	課題の提出 －チェックポイント（CP）－	教室活動	教室外（課題）
第1週目		プロジェクトの説明&作品紹介	リストの作品を読んでみる
第2週目		グループで作品の冒頭部分を読む	リストの作品を読んでみる
第3週目	CP1：作品決定&理由		
第8週目	CP2：著者紹介	ペア／グループワーク （週に一度、5～10分程度） － 自分が読み進めた内容や著者のこと、自分の感想などをクラスメートに話す － 自分がよくわからない箇所についてクラスメートに尋ねる	－ 毎日/毎週読む分量を決め、計画立てて読み進める － 毎週英訳（数行分）を提出&個別にフィードバック（中間あたりで一度面談。そのあとは必要に応じて）
第10週目	CP3：あらすじ&感想・興味を覚えた箇所		
第12週目	CP4：発表スライドドラフト	ペアになって互いに自分のドラフトをもとに発表内容について話す	－ドラフトをもとに面談
第13週目	CP5：発表スライド	発表（10～15分）&互いにコメント	

CP2 テンプレート 著者紹介

3. 実践報告

	課題の提出 – チェックポイント(CP) –	教室活動	教室外(課題)
第1週目		プロジェクトの説明&作品紹介	リストの作品を読んでみる
第2週目		グループで作品の冒頭部分を読む	リストの作品を読んでみる
第3週目	CP1:作品決定&理由		
第8週目	CP2:著者紹介	ペア/グループワーク (週に一度、5~10分程度) – 自分が読み進めた内容や著者のこと、自分の感想などをクラスメートに話す – 自分がよくわからない箇所についてクラスメートに尋ねる	– 毎日/毎週読む分量を決め、計画立てて読み進める – 毎週英訳(数行分)を提出&個別にフィードバック(中間あたりで一度面談。そのあとは必要に応じて)
第10週目	CP3:あらすじ&感想・興味を覚えた箇所		
第12週目	CP4:発表スライドドラフト	ペアになって互いに自分のドラフトをもとに発表内容について話す	– ドラフトをもとに面談
第13週目	CP5:発表スライド	発表(10~15分)&互いにコメント	

EAS461H1F/EAS1305H1F (Fall 2019) 「私/僕のおススメ」 チェックポイント2(提出日:2019 年 10 月 21 日 月曜日)
提出:ハードコピーを授業の時に提出&電子ファイルを Quercus にアップロード

名前:_____ クラス番号(　　)

/2%

著者紹介

● ブックレビューに選んだ作品

作品名		著者名	

● 著者の略歴(りゃくれき)(重要なもののみ)

例:(自分が書く時は、以下の例は消してください)

1960 年:東京に生まれる。

高校卒業後、法律事務所に勤める。

1987 年:「我らが隣人の犯罪」という小説で新人賞を受賞する。

その後、数々の賞を受賞。

(https://www.amazon.co.jp/%E5%AE%AE%E9%83%A8-%E3%81%BF%E3%82%86%E3%81%8D/e/B000APC2UG 2019 年 10 月

出版社(しゅっぱん)や新聞、雑誌などの記事をさがし
ついての情報を集めます。だれかわらない
イッター、ウィキペディアなどの情報は使え
の出版物をさがしてください。得た情報の
URL にアクセスした年月日を書きます。(
しも、消してから提出してください)

● この著者の特徴(とくちょう)、またこの著者の作品の特徴など

例:(自分が書く時は、以下の例は消してください)

ミステリー、時代小説、ファンタジーなど幅広いジャンルの小説(短編・長編)を書く。

自身のことを「本質的に怪談作家」と呼んでいる。

(https://book.asahi.com/article/12647415 2019 年 10 月 9 日アクセス)

● その他どんなことでもいいので、この著者について興味を覚えたことについて

例:

宮部みゆきは、主人公やその周りの人の生活をとても細かく丁寧に書く作家のようです。私はそこが面白いと思いました。事件は、特別な環境で起こるのではなく、私たちの日常のどこにでも起こりうることを教えてくれる作家だと思います。

CP3 テンプレート
あらすじ・感想
興味を覚えた箇所

EAS461H1F/EAS1305H1F (Fall 2019) ブックレビュー「私/僕のおススメ」 チェックポイント3（提出日：2019 年 11 月 11 日 月曜日）
提出：ハードコピーを授業時に提出

名前：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ クラス番号（　　）

/270

作品のあらすじ＆私/僕の感想

● ブックレビューに選んだ作品

作品名		著者名	

● あらすじ（800 字以内）丁寧体（「～です」、「～ます」で書いてください）

フォントは日本語の字体を使って下さい。ここは１行 46 字になるように設定してあります。だいたいこの

１ページであらすじを書いてくださ

● この作品を読んで自分がどう感じ、何を思ったかなどについて具体的に書いてください。できれば、どうしてクラスメートに読んでみることを勧めたいかも加えてください。

フォントは日本語の字体を使って下さい。ここは１行 46 字になるように設定してあります。だいたいこの

ページの半分～３分の２程度で感想やお勧めを書いてください。現行のダブルスペースの行間をキープし

	課題の提出 －チェックポイント（CP）－	教室活動	教室外（課題）
第1週目		プロジェクトの説明&作品紹介	リストの作品を読んでみる
第2週目		グループで作品の冒頭部分を読む	リストの作品を読んでみる
第3週目	CP1：作品決定&理由		
第8週目	CP2：著者紹介	ペア／グループワーク（週に一度、5～10分程度） － 自分が読み進めた内容や著者のこと、自分の感想などをクラスメートに話す － 自分がよくわからない箇所についてクラスメートに尋ねる	－ 毎日/毎週読む分量を決め、計画立てて読み進める － 毎週英訳（数行分）を提出&個別にフィードバック（中間あたりで一度面談。そのあとは必要に応じて）
第10週目	CP3：あらすじ&感想・興味を覚えた箇所		
第12週目	CP4：発表スライドドラフト	ペアになって互いに自分のドラフトをもとに発表内容について話す	－ドラフトをもとに面談
第13週目	CP5：発表スライド	発表（10～15分）&互いにコメント	

CP4 評価表
発表スライドドラフト

私/僕のおススメ _____ (　　)

A. わかりやすさ:3.5%
  a. 内容(2)
  b. 文法や語彙などのミスの少なさ(1)
  c. 話す順番(0.5)

B. 見やすさ:1.5%
  a. 文字の大きさ
  b. 1枚のスライドあたりの文字量(情報量)
  c. フォントの種類や色の使い方
  d. その他の工夫

合計:　　/5%

	課題の提出 – チェックポイント(CP) –	教室活動	教室外(課題)
第1週目		プロジェクトの説明&作品紹介	リストの作品を読んでみる
第2週目		グループで作品の冒頭部分を読む	リストの作品を読んでみる
第3週目	**CP1**:作品決定&理由		
第8週目	**CP2**:著者紹介	ペア/グループワーク (週に一度、5~10分程度) – 自分が読み進めた内容や著者のこと、自分の感想などをクラスメートに話す – 自分がよくわからない箇所についてクラスメートに尋ねる	– 毎日/毎週読む分量を決め、計画立てて読み進める – 毎週英訳(数行分)を提出&個別にフィードバック(中間あたりで一度面談。そのあとは必要に応じて)
第10週目	**CP3**:あらすじ&感想・興味を覚えた箇所		
第12週目	**CP4**:発表スライドドラフト	ペアになって互いに自分のドラフトをもとに発表内容について話す	– ドラフトをもとに面談
第13週目	**CP5**:発表スライド	発表(10~15分)&互いにコメント	

CP5 ルーブリック 発表

	課題の提出 －チェックポイント（CP）－	教室活動	教室外（課題）
第1週目		プロジェクトの説明&作品紹介	リストの作品を読んでみる
第2週目		グループで作品の冒頭部分を読む	リストの作品を読んでみる
第3週目	CP1：作品決定&理由		
第8週目	CP2：著者紹介	ペア／グループワーク （週に一度、5～10分程度） － 自分が読み進めた内容や著者のこと、自分の感想などをクラスメートに話す － 自分がよくわからない箇所についてクラスメートに尋ねる	－ 毎日/毎週読む分量を決め、計画立てて読み進める － 毎週英訳（数行分）を提出&個別にフィードバック（中間あたりで一度面談。そのあとは必要に応じて）
第10週目	CP3：あらすじ&感想・興味を覚えた箇所		
第12週目	CP4：発表スライドドラフト	ペアになって互いに自分のドラフトをもとに発表内容について話す	－ドラフトをもとに面談
第13週目	CP5：発表スライド	発表（10～15分）&互いにコメント	

EAS461H1F/EAS1305H1F (Fall 2019)「私/僕のおススメ」 発表（2019年12月2日 月曜日／5日 木曜日）

クラス番号：　名前：　作品名：　著者：

	3	2	1
1. 発表の内容	自分が紹介したい作品や作家について、わかりやすく話している。内容が理解しやすい。 非常によくできていれば、さらに＋1	自分が紹介したい作品や作家について、わかりやすく話しているが、理解しにくい、または話の流れ（ながれ）が悪い所がある。	話している内容の中に、かなりわかりにくいところがある。
2. 声の大きさ 話す速度 視線（しせん）	とても聞き取りやすい声で、理解しやすいスピードで話していた。聞いている人たちの方を向いて話すことができた。	声が聞きとりにくかったり、速すぎる、または遅すぎてわかりにくいところがあった。聞いている人の方をあまり見ていなかった。	声が聞き取れない、または速度が適切でなかったため、よくわからなかった。聞いている人たちの方をほとんど見ていなかった。
3. パフォーマンス		メモにほとんど、あるいはまったく頼らないで発表ができた。	メモを「見る」のではなく、読んでいる部分が多かった。
4. 発表の工夫			クラスメートが理解しやすいように、何か工夫をしていた。

★時間オーバー：1分ごとにマイナス0.2

合計点：　　/10点 ＝ 5%

発表の様子（一部）著者紹介→あらすじ→感想

4. 学習者の振り返り

実施方法：

（1）紙によるアンケート調査（自由記述式，プロジェクト終了直後）
（回答：12人/13人（2018年度） 17人/17人（2019年度） 計29名）

2019年度のみ実施

（2）Google Formによるアンケート調査（5段階評価＆自由記述式，コース終了後）
（回答：10人/17人）

GF

質問内容：

①プロジェクト開始前の気持ち
②プロジェクト終了後の気持ち
③課題・教室活動について（Google Formでのみ質問）

① プロジェクト開始前の気持ち

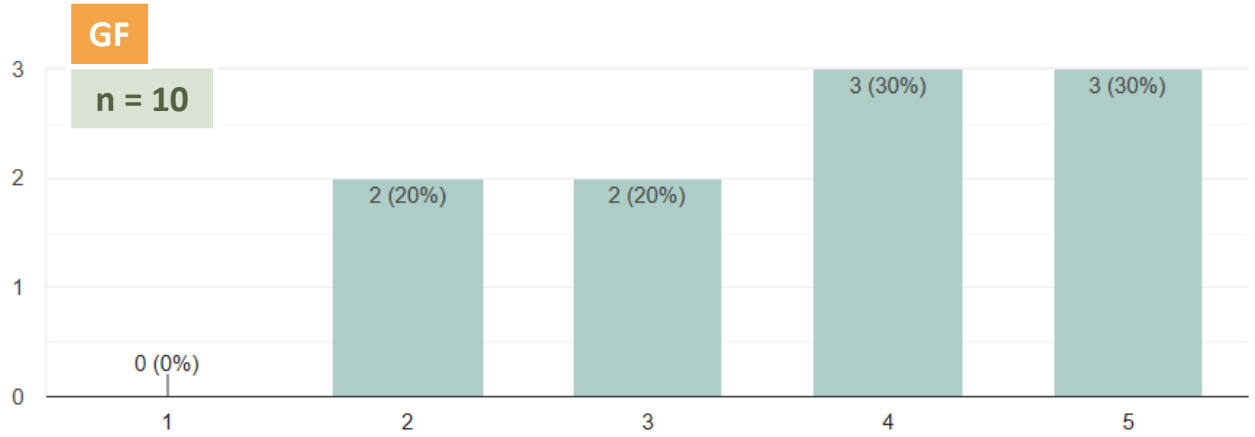
ポジティブ

- 「**楽しみ**」「**ワクワク**」「**期待**している」「**やる気**満々」“**Excited**”

ネガティブ

- 「できるかどうか**不安**」「読めるなんて信じられない」「**こわい**」「**難しそう**」「うまくいくかな」「**理解できなかったら**どうしよう」“Kind of **scared**”
- 「**面倒**」「**負担**」「**大変**そう」「**したくない**」“**Boring** and **burdensome**”
- “**Not a big fan of fiction**”

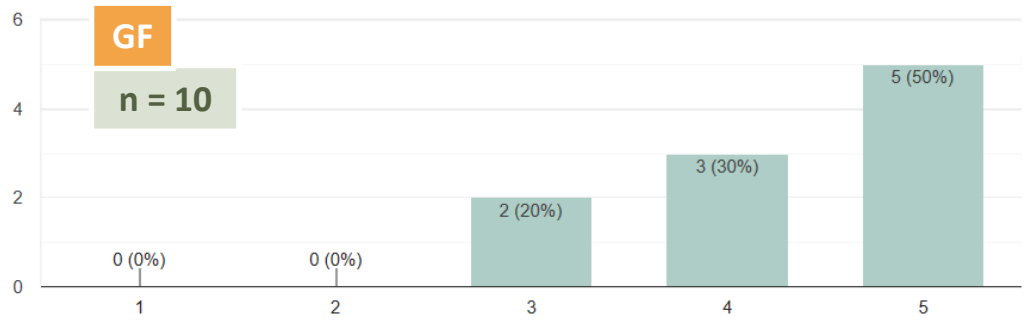
難しそう、
大変そう、
自分にはできそう
にない、
というような否定的
な気持ち



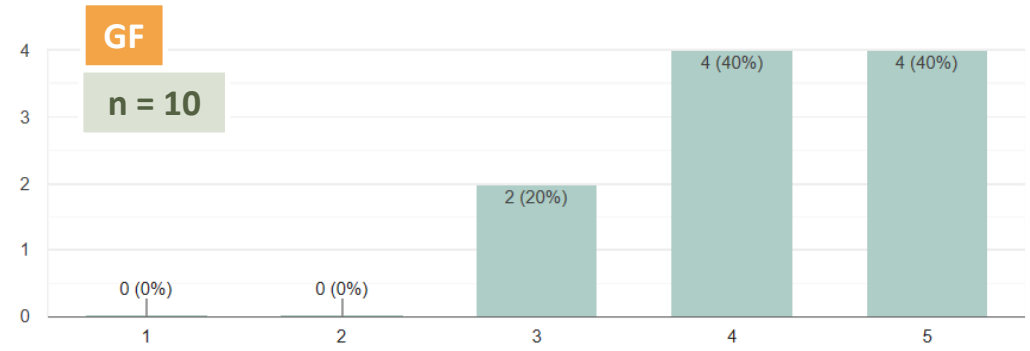
面白そう、
楽しそう、
やってみたい、
というような肯定的
な気持ち

② プロジェクト終了後の気持ち

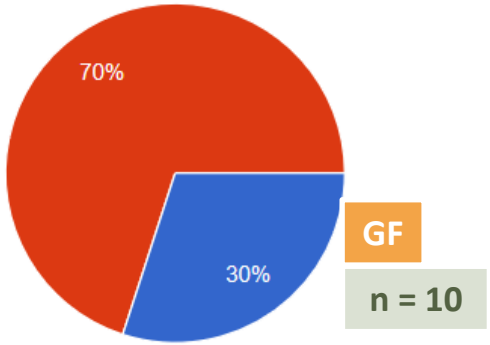
1）やってよかったか。
（1：強く不同意　5：強く同意）



2）日本語の力の向上に役立った。
（1：強く不同意　5：強く同意）



3）日本語の力（特に読む力）に自信がついたか。
●：ついた
●：少しついた
回答者なし：以前と変わらない，その他

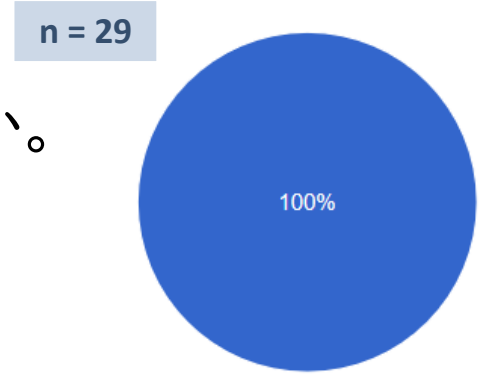


② プロジェクト終了後の気持ち(続き)

4) これからも日本語で書かれた作品を読んでいきたいか。

●：はい

回答者なし：いいえ



② プロジェクト終了後の気持ち(続き)

ポジティブ

日本語の能力：

- 勉強になった
- Improving **reading and writing skills** as well as **research skills** in Japanese.
- Translation was hard but it really helped me with understanding the story and getting used to **the sentence structure/flow** in Japanese novels.
- I like reading as a way to **learn vocabulary** and **practice grammar**.

自信・充実感・達成感

- **自信**が持てた
- **原書**が読めた
- 思ったより易しくて**面白かった**
- 日本の**文学**についての勉強が**おもしろかった**

② プロジェクト終了後の気持ち(続き)

ポジティブ
自信・充実感・達成感（続き）

- 日本語の小説を**初めて楽しんで**読み終わった
- 最初は分かりにくかったけど、読み続くと、わかりやすくなってすごく**楽しかった**
- 心を落ち着いて本を読むのが**楽しかった**、もう何年ぶりでしょう
- 山田詠美という作家に**興味**を持つことができた
- **知らない作家**のことを学んだ
- 日本語で小説を読むのは**初めて**。非常に**特別な体験**だった。
- こんなに詳しく小説を読んで、そして感想も書くのは**初めて**でした。こんなに細かいところいっぱいあるんだなと思われました。
- I got **more hooked** into Japanese literature after reading them.
- Being able to read a short story in Japanese was **very exciting** and a **great learning experience**.
- It was a great way to start **getting to know Japanese novels**.

② プロジェクト終了後の気持ち(続き)

ネガティブ

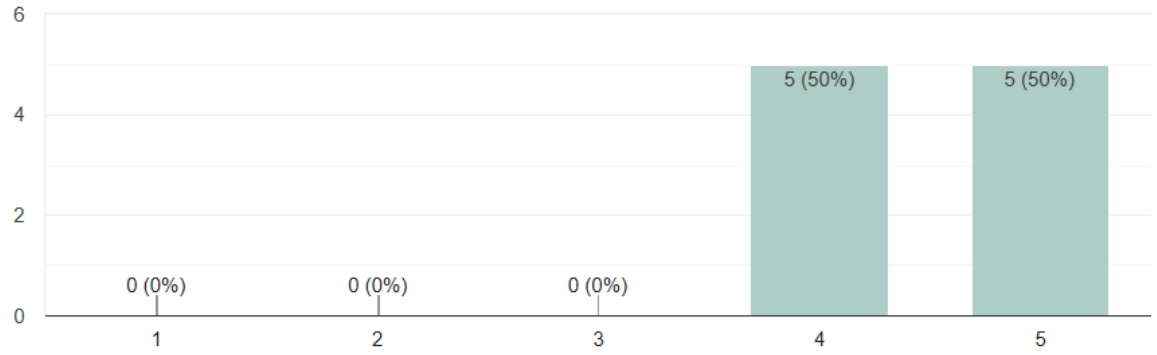
- The **workload** is quite a lot, along with our other homework.
- なぜ読み書きの授業なのに最後の課題として**発表**をさせるんだろうか少わからない。

③ 課題・教室活動について（1：強く不同意　5：強く同意）

1）毎週の**翻訳の宿題**は役に立った。

GF

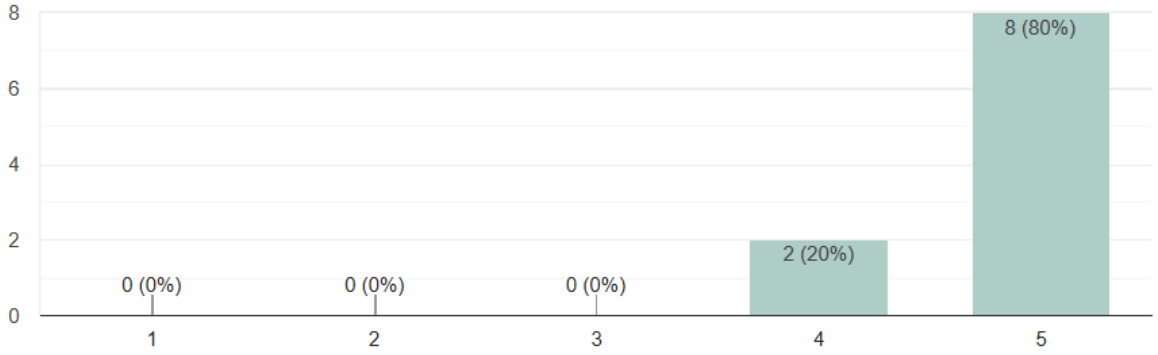
n = 10



2）自分の翻訳に対する教師の**フィードバック（Written/面談）**は役に立った。

GF

n = 10



③ 課題・教室活動について（1：強く不同意　5：強く同意）（続き）

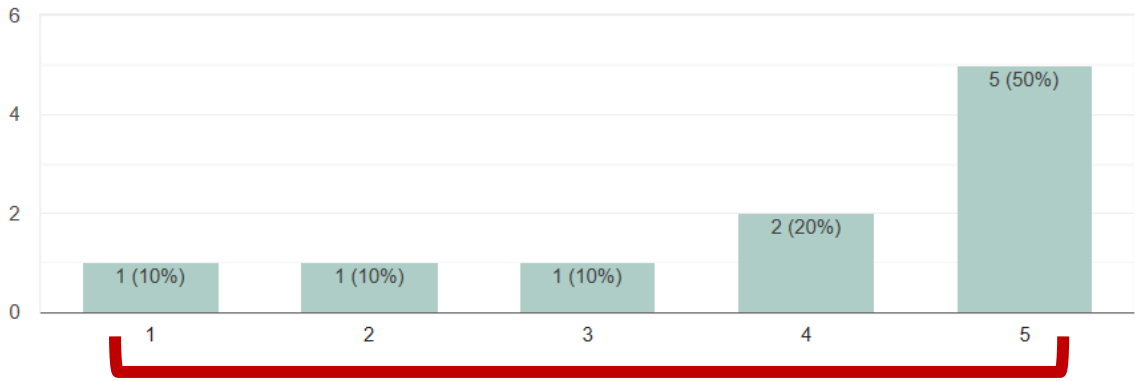
3）**チェックポイント**はどうでしたか。自由に書いてください。 GF

- 最後の発表に**役立った**
- CPを少しずつこなすことで当初の**不安が少しずつ消えていった**
- Very **helpful** since it broke down a seemingly intimidating project into multiple manageable parts.

4）自分の作品について**クラスメートと話す活動**は役に立った。
（1：強く不同意　5：強く同意）

GF

n = 10



5. まとめと今後の課題

学習者一人一人の読みを、課題と教室活動でサポートする本長期プロジェクトは、開始当初は不安を覚える学習者が多かったが、終了時には自分の力で作品を読み切ったことに対し、達成感を覚え自信につながっていた。

自律的な日本語学習を継続させるための素地が形成された

長期読解プロジェクト実施の際の重要点

- ❑ プロジェクトの意義と到達目標、課題・活動の目的、手順をしっかりと理解させてからプロジェクトを開始する。
- ❑ 学習者の「つまずき」を防いで「つまずき」に対応できるような機会を定期的かつ頻繁に持つ。
- ❑ 授業内でプロジェクト遂行に必要なスキルを養うための指導を行う（例：物語の述べ方，自分の感想の述べ方など）。

今後の課題

- ペア/グループ活動の効果的な行い方
- 学習者に合った作品の開拓

参考文献

池田庸子（2008）「新書を用いた多読授業の実践報告ー学部留学生への読解支援の観点からー」『茨城大学留学生センター紀要』6, 13-20

石黒圭（2019）『序章　読解教育を考える』石黒圭編, 4-5

熊田道子・鈴木美加（2019）「第9章　多読の教室活動：心理学の三つの理論をベースにした多読実践」『日本語教師のための実践・読解指導』石黒圭編, 154-167

胡方方（2019）「第7章　ピア・リーディングの教室活動」『日本語教師のための実践・読解指導』石黒圭編, 118-137

江田すみれ・飯島ひとみ・野田佳恵・吉田将之（2005）「中・上級の学習者に対する短編小説を使った多読授業の実践」『日本語教育』126, 74-83

二宮里佳・川上麻里（2012）「多読授業が情意面に及ぼす影響ー動機づけの保持・促進に焦点をあててー」『一橋大学国際教育センター紀要』3, 53-65

Day, R. R. and Bamford, J. (1998). *Extensive Reading in the Second language Classroom.* Cambridge University Press

ありがとうございました

IKUKO.KOMURO.LEE@UTORONTO.CA